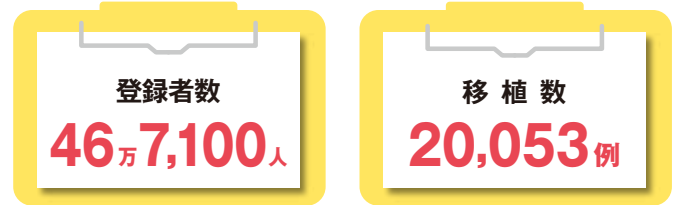


CONTENTS

- 2,3... **2万人のありがとう**
 4,5... なるほど 骨髓バンクデータ
 6... トピックス/適合のお知らせが届いたら...
 7... ドナー登録者の住所不明は約63,000人
 8... プレゼント/メールアドレス登録のお願い/募金のお願い



■日本骨髓バンクの現状 ※2016年10月末現在



Close-up NEWS

骨髓バンク設立25周年 | 2万人のありがとう

公益財団法人日本骨髓バンク(設立時は財団法人骨髓移植推進財団)が発足したのは1991年12月18日。今年で設立25周年を迎えます。

9月17日、世界骨髓バンクドナーデーに合わせて開催した「骨髓バンク設立25周年記念全国大会」2万人のありがとうは、骨髓バンクを支援されているテレビ東京の大江麻理子さんが司会進行を務めました。

25周年記念大会ということで多くの皆さまにご来場いただき、会場の慶應義塾大学 藤原洋記念ホールは満席となりました。



藤原洋記念ホールで行われた「骨髓バンク設立25周年記念全国大会」

「骨髓バンク設立25周年記念全国大会」開催

今春から日本骨髓バンク事業では京都大学IPS細胞研究所(CiRA)の「再生医療用IPS細胞ストック」に協力している関係から、ノーベル生理学・医学賞受賞の山中伸弥所長からも応援ビデオメッセージをいただきました(※)。

移植経験者、提供ドナーが出演した「2万人のありがとう」のコーナーでは、移植経験者からお世話になった関係者へのメッセージと、提供ドナーから提供経験が披露されました。最後は、移植経験者、提供ドナーそれぞれがメッセージパネルを交換(写真)、感動のうちに幕を閉じました。

骨髓バンクを介した 累計移植数が2万例到達

2016年10月19日、日本骨髓バンクを介した2万例目の移植が行われました。

翌日には厚生労働記者クラブにて齋藤理事長他が出席した記者会見を開催し、マスメディアを通じて報告と御礼を述べさせていただきました。

1992年1月にドナー登録受付を開始し、同年6月には患者登録がスタート。最初の骨髓移植は1993年1月に実施されました。1例目の移植からおよそ24年、2万人の患者さんに命をつなぐチャンスを提供してきました。

近年の年間移植数は2013年の1343例をピークに1300例前後で推移しています。1万例(2008年12月)まで約16年を要しましたが、1万例から2万例までは約8年で到達することができました。累計ドナー登録者数は68万人を超えており、ドナーの皆さまをはじめ、すべての関係者の皆さまに心から感謝申し上げます。また、現在登録中のドナーの皆さまには引き続きご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。



2万人のありがとう

2016年10月に日本骨髄バンクを介した移植例数が20,000例に到達しました。
ドナーさんから患者さんへ渡された命のリレーに改めて感謝と敬意を表します。

患者さんのありがとう



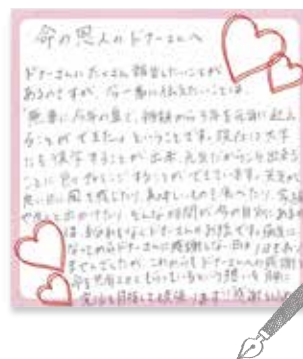
いけがや ありさ
池谷 有紗さん
2013年に急性リンパ性白血病を発症
同年に骨髄バンクを介して
骨髄移植を受ける
2015年春に大学に復学

ドナーさんからももらった宝物。

発症当時、体調が優れない状態が1カ月ほど続き、風邪だろうと思つて病院に行つたところ、「白血病だ」と言われ、その瞬間に涙があふれたことを今でも鮮明に覚えています。すぐに骨髄バンクでドナーを探し、自分のHLA型と全一致のドナーさんが決まつたと聞いた時には、もつと涙があふれました。

入院してからずっと痛いことや、苦しいこと、悔しくて心が折れそうなくらいに辛い時もありましたが、その度に頑張つた分は、「未来の良いことに転換されるポイントになる」と思い、自分と向き合つてきました。前処置治療中にはたくさんポイントを取つたのであろう出来事もありました。治療が始まつて3日が経つた夜、おう吐や頭痛の副作用だけでなく、今まで味わつたことのない恐ろしい腹痛に襲われました。何をしてもその苦しみから解放されることはなく、まさに地獄そのもので一気に汗が体を伝いました。

しかし、移植の前日になると、不思議と腹痛の症状が和らぎ、移植当日はとても穏やかな気持ちで迎えることができました。提供してくれたドナーさんからの骨髄液をみて、「私は今日からまた生きてい



けるんだ、もう一度生きるチャンスを与えてもらったんだ」と思つと、本当に感謝の気持ちと、自分の命の責任のようなものを感じました。

退院してから、顔も名前も知らない私にリスクを背負いながらも、生きるチャンスを与えてくれたドナーさんに、感謝の想いを綴つた手紙を書いたところ、ドナーさんからも熱い思いのこもつた手紙を頂くことができました。そこには彼と適合したのは運命の様なタイミングだったこと、「ありがとう」と言つてくれて、あなたがありがとうと言える状態であつてくれてありがとう。生きていてくれてありがとう。あなたからの手紙は、宝物です」という嬉しい言葉がたくさん詰まつていて、読みながら、涙があふれ、言葉では言い表せないほど感謝の気持ちでいっぱいになりました。また、私は彼から手紙だけでなく、何よりも大きな宝物である「命」をもらいました。私はこの自分の命、人生、そして周りの大事な人たちをこれからも大切に、感謝を忘れずに、全力で生きていきたいと心から思います。



ざこ た こう き
迫田 晃樹さん
東京都青梅市在住 青梅市議会議員
2015年に急性リンパ性白血病を発症
2016年骨髄移植を受ける
現在、青梅市のドナー助成制度導入に向け、活動している

命というプレゼントをいただきました。

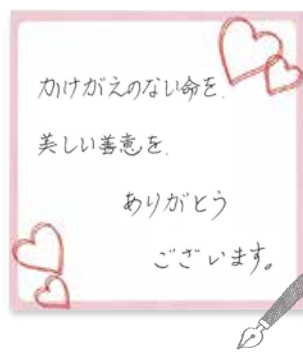
「ZENI」11ゼニと読まずゼニと読んでください。骨髄バンクは金を蓄える銀行ではなく、善意を預ける心の宝石箱です。

私は昨年、ドナーさんの無償の善意により、かけがえのない新たな命を授かりました。

私は幸運にも早期に型の合うドナーさんにめぐり会い、移植を受けることができました。

ともかくにも何よりも、ドナーさんとご家族皆さまのご理解に感謝しております。直接お会いしてお礼を伝えることはできませんが、神様でも仏様でもなくドナーさんに、手を合わせて祈る毎日です。

ドナーさんの他にも数えきれないほど多くの方々が、いろいろな面で支えてくださいました。一番はもちろん病院のスタッフの皆さまです。移植に際しては辛いことがたくさんありました。本来「移植を受けられる」それ以外何も望むべきではない、その過程がどんなに辛くても弱音を吐くことなど許されないと聞いていたのですが、「痛いときは痛いと言つていいんですよ、辛いときは泣いてもいいんですよ、恥ずかしいことではないんですよ



よ」と優しく声をかけてくださいました。この言葉には本当に励まされ、勇気を与えていただきました。

命をつないでいただいただけでなく、心の底の悪い腫瘍も取り除いていただいたような、そんな貴重な経験をさせていただきました。

前触れもなくある日突然襲ってくる病気があります。老若男女、いつ誰がかかるかわからない病気があります。

「もしも明日あなたがこの病気にかかったら」「最愛の妻や夫が」「かわい

い子どもや孫が」「そう思つてみてください。今日も、明日も、ひとつでも多くの命が救われますように。皆さまの善意をお預けいただけますように。そう願っています。

何よりも美しく
何よりもあたたかく
何よりも価値のある
かけがえのないプレゼント
目を閉じて胸に手をあてると
感じます 命を
大切に 大切に
胸にいだいて 生きていきます



Thank

提供した ドナーさんの ありがとう

痛みも少しある程度で、その痛みも一週

個人差があると聞いていましたが、提供後は2回とも退院2日後には職場に復帰して仕事をしていました。採取箇所の

2回目の提供は今年、2016年でした。実は、私は今年の2月に骨髄バンクの説明員※になったばかりで、説明会への参加も数回程度の新米説明員だったので、そんな最中に来た適合通知だったので1回目の時よりも驚いた記憶があります。それと同時に、また直接、患者さんの力になれるという思いや、これで最後の提供にはしたくないという思い、いろいろな思いがある中での提供でした。

2012年に適合通知が来て、あの当時は「今ある命を何としても助けたい」という思いでいっぱい、通知後は早く提供する日が来ないかと毎日焦っていました。提供して、患者さんからお手紙をいただいた時は安心しましたが、同時に「まだ移植できずに苦しんでいる人も沢山いるのだ」という思いも強くなっていました。

2回の骨髄提供を経験して。



ちば かずのり
千葉 一哲さん
群馬県在住
2008年にドナー登録
2012年と2016年に骨髄提供

3回目の提供ができるなら喜んでさせていただきます。

「迷宮力F」の上映会を行いました。今では、iPS細胞を使つた白血病の治療も研究が進んでいると聞きます。患者さんの病気が、もっと簡単に確実に治るのなら、それに越した事はありません。そんな日が来る事を信じ、それまでは自分のできる事を行おうと思えます。もし、

私は提供者ではありませんが、ほんの数日入院して、採取時も麻酔で眠っていただけです。その間に、病院のスタッフ、コーディネーターをはじめとする骨髄バンクの職員の方の力があって、骨髄移植は実現するのだと実感しました。そして、今も長い時間闘病している患者さんの大変さを考えると、まだまだ自分のできる事はあるだろうと思ひ、地元

間ぐらいで消えました。2回の提供と同じ病院、同じコーディネーターの方でしたが、本当に気を配っていただいたのが印象的でした。



以前から骨髄バンクについては知っていたのですが、登録のきっかけは、成人式で町から配布された冊子の中に骨髄バンクの資料が入っていたことでした。ちょうど誕生日が近かった事もあり、誕生日が来たら登録しようと思ひ登録しました。

家族には、登録後もし選ばれたら受ける話していたので特に反対はありませんでした。会社も検査のために数日間病院にかかること、実際ドナーに選ばれた場合は休むこと等に対して快諾して貰えたので、一人だけでは決して出来ることではなく、沢山の方の支えがなくては出来ないものなのだと思ひました。

仕事から帰って来ると母から見慣れない郵便物が来ているけど...と教えられ確認したら適合通知でした。この時が8月で登録をしたのが2月末だったので、早い! というのがその時の率直な感想でした。

以前から骨髄バンクについては知っていたのですが、登録のきっかけは、成人式で町から配布された冊子の中に骨髄バンクの資料が入っていたことでした。ちょうど誕生日が近かった事もあり、誕生日が来たら登録しようと思ひ登録しました。

二十歳になった記念でドナー登録。



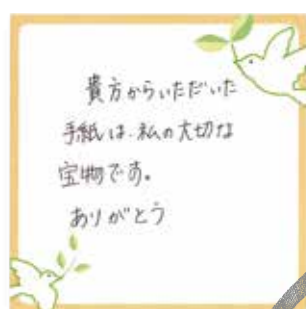
いわもと れいな
岩本 礼奈さん
静岡県在住
2012年にドナー登録
同年に骨髄提供



提供して随分と時間は経ちましたが、今でも当時の事を鮮明に思えています。患者さんがその後どうなっているかは分かりませんが、今もどこかで元気に過ごしていると思っています。提供したのは私ですが、私一人ではなにも出来ませんでした。家族や会社、コーディネーターさんなど沢山の方との沢山のご縁があったから出来たことです。この繋がりがあってこそ今の私があります。大変な事もありました。この経験は大切な宝物です。

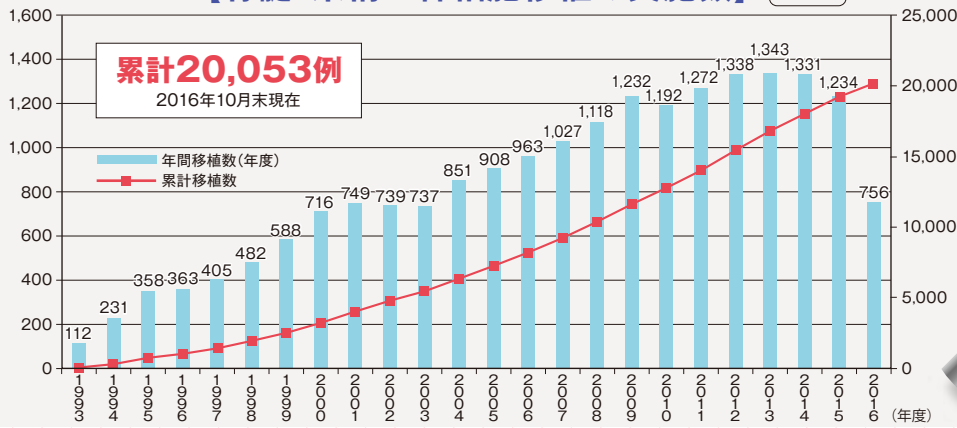
がしました。実際、ドナーに選ばれて骨髄採取の手術を行いました。入院中同室になった患者さんの辛い闘病の姿を見て、今回自分が提供した患者さんも今まで辛い思いをしてきたのだと思うと、自分の手術の痛みなど小さなものでこれで少しでも役に立てたらと強く思いました。

がしました。実際、ドナーに選ばれて骨髄採取の手術を行いました。入院中同室になった患者さんの辛い闘病の姿を見て、今回自分が提供した患者さんも今まで辛い思いをしてきたのだと思うと、自分の手術の痛みなど小さなものでこれで少しでも役に立てたらと強く思いました。



(注)累計には92年度計(93年1月～3月まで)の8件が含まれています。

【骨髄・末梢血幹細胞移植の実施数】 図1



骨髄バンクデータ

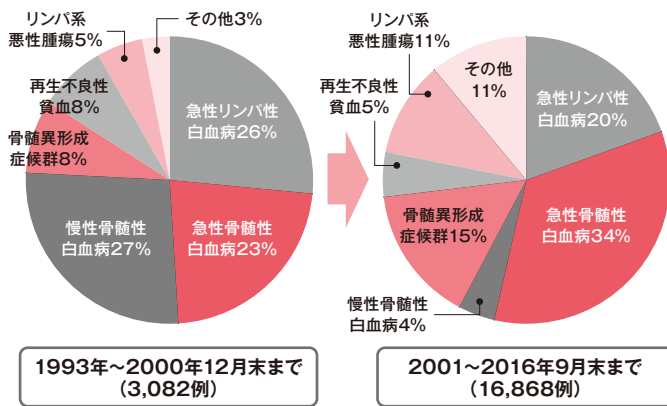
主なデータをもとに、移植患者、提供者・ドナー登録者、国際協力状況について見てみましょう。

日本骨髄バンクを介した骨髄・末梢血幹細胞移植は、本年10月末現在累計で約2万例。2000年前後から次第に移植件数が伸びており(図1)、以前は移植が難しかった高齢者への移植が可能になったことが理由の1つにあげられます。主な疾患分類の傾向を見ると、慢性骨髄性白血病が減少しています(図2)。近年治療薬の開発が進み、治療方法として移植を第1選択とすることが少なくなったことが背景にあると考えられます。移植患者は15歳以上の成人が8割以上を占めています(図3)。

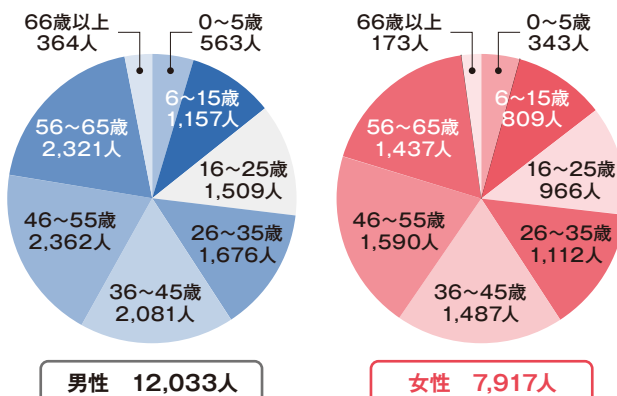
ドナー登録者数は2016年10月末現在約47万人。新規ドナー登録者数は近年約3万人前後で推移していますが、2005年度をピークに少しずつ減少傾向にあります(図4)。一方、登録取消者数は年間約2万人を超え、年々増加傾向を示しています(図5)。実際に提供した方で最も多いのは男女とも30代で全体の4割を占めています(図6)。今後、登録年齢超過により骨髄バンクで「引退」を迎える方たちがさらに増えていくため、あとに続く20代、30代の若い世代のドナー登録の増加が一刻も早く求められています(図7)。

日本骨髄バンクは、米国、中国、韓国、台湾の海外バンクと提携を結び、相互に提供・受領を行っているほか、提携していない国々への提供

【主な疾患分類の傾向】 図2



【移植患者の分類】 図3



も行っていきます。本年10月末現在、日本から海外への提供は260件、海外からの受領は186件となっています。以前は日本のドナープールが小規模で、海外バンクの場合、多くは米国から受領していましたが、近年は台湾か

らの受領と韓国への提供が多くなっています(図8)。また1998年よりBMDW(世界骨髄バンクHLA型別データ集計システム)に参加し、世界規模でのHLA情報共有化に協力しています。

コーディネート状況

683,566人

ドナー登録者累計数

268,055人

HLA適合報告ドナー人数

97,666人

確認検査済みドナー人数

23,190人

最終同意面談人数

19,876人

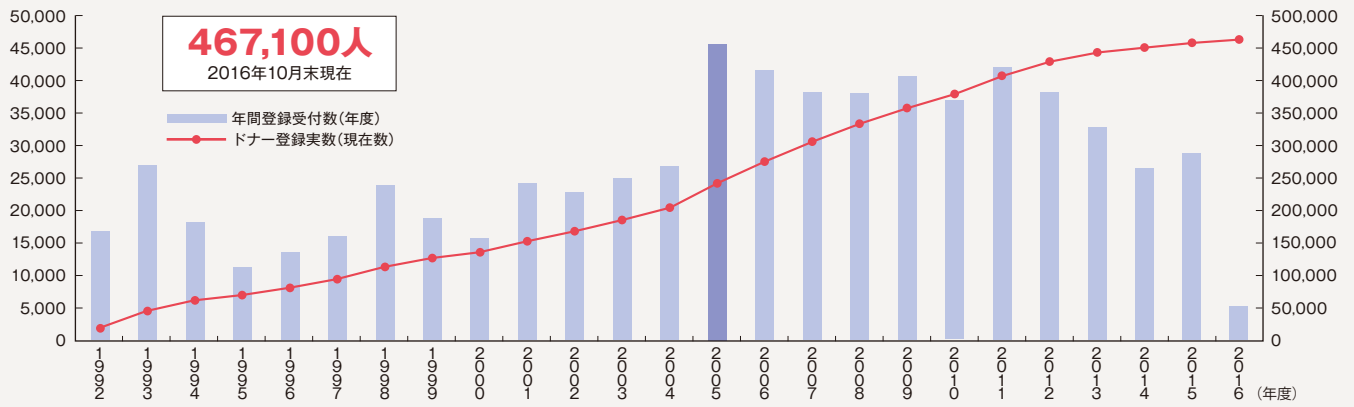
採取実施人数

※海外ドナー186人を除いた国内の数

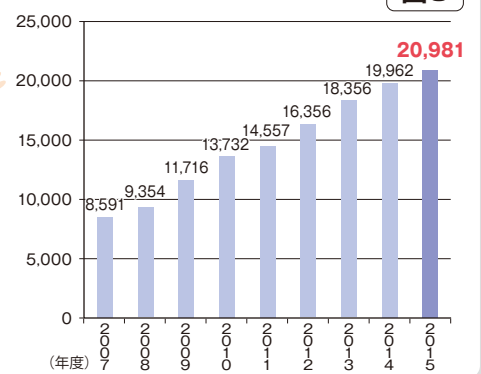
2016年9月末現在(19,950例)

1992年から2016年10月末までの累計数

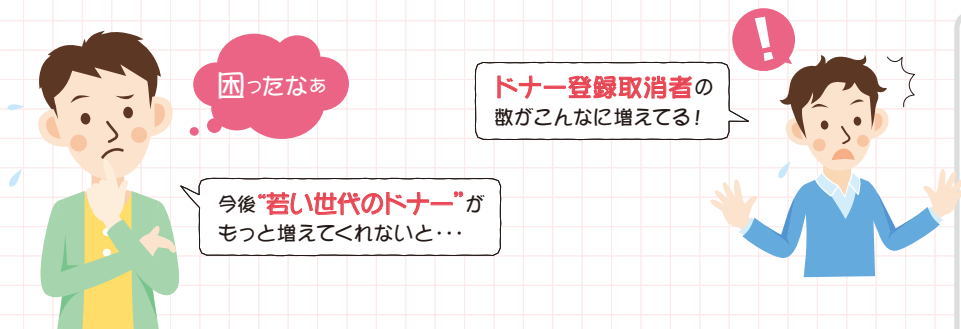
【ドナー登録数の推移】 図4



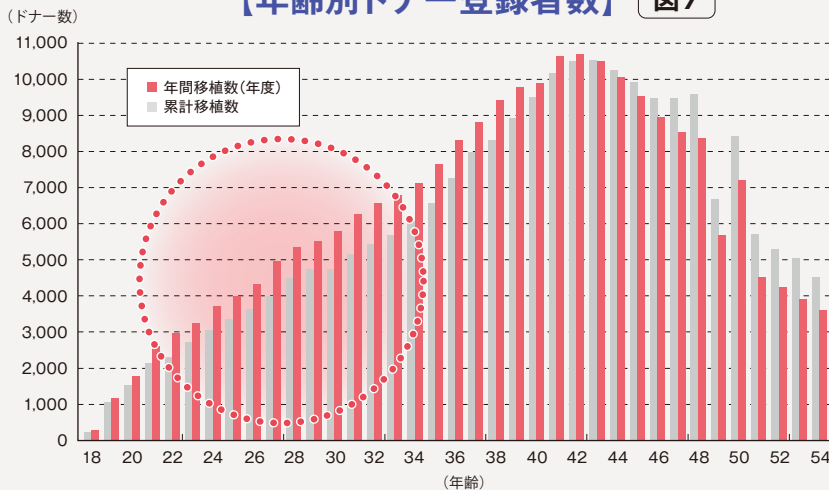
【ドナー登録取消者数の推移】 図5



2015年3月末現在



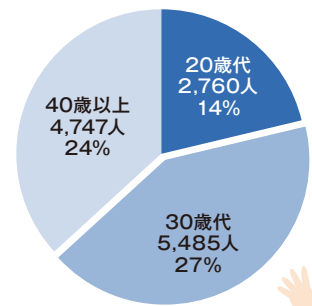
【年齢別ドナー登録者数】 図7



出典: 日本赤十字社/造血幹細胞移植情報サービス

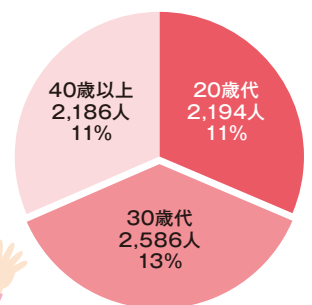
2015年12月末現在

【提供ドナーの分類】 図6



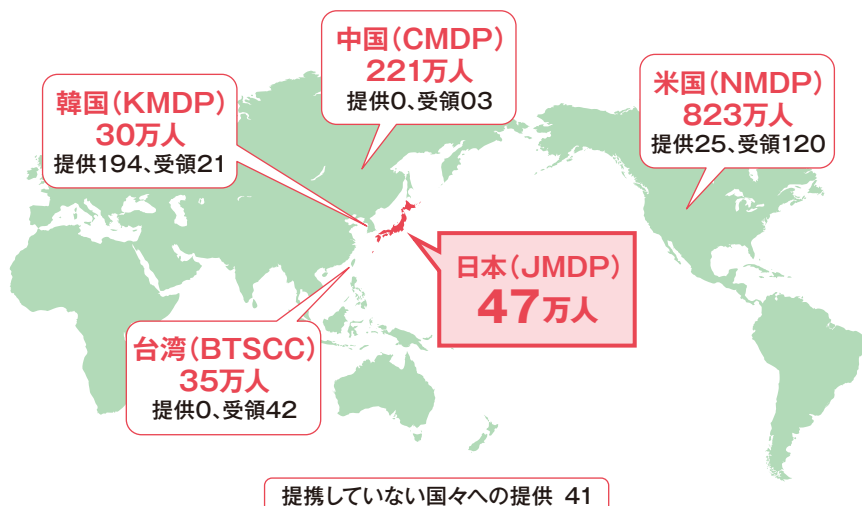
男性 12,992人

私たち30代の提供者が全体の4割を占めています!



女性 6,966人

【国際協力の現状】 図8



2016年10月末現在 (数字はドナー登録者数、日本からの提供数、日本での受領数)

2016年9月末現在 (19,958例) 19,958例全体に占める割合を%で示しています。



修学旅行生を対象にした語りべ講演会

10月6日、修学旅行で東京を訪れていた兵庫県立香寺高等学校医療看護コースの生徒の皆さんに語りべ講演会が行われました。修学旅行生を対象にした講演会は、今春の兵庫県立龍野北高等学校に続き2回目。今回は4歳で骨髄移植をした女の子の実話に基づいた絵本「春ちゃんは元気です」の朗読と、絵本の原作者で主人公春ちゃんのお父様でもある松田のぶおさんによる講演が行われました。

当法人では修学旅行生を対象にした講演会以外にも、学校の授業や学校行事でも語りべ講演会を行っています。お問い合わせは広報渉外部(03-5280-8111)までご連絡ください。



ドナー助成制度を導入する自治体が192になりました

骨髄バンクを介して骨髄または末梢血幹細胞を提供したドナーを対象に助成制度を導入している自治体が全国で192になりました(2016年10月現在)。

制度導入に積極的に取り組んでいる岡山県では導入自治体が15市町に増えました。県として助成制度を推進しているのは全国で8都府県(山形県、茨城県、群馬県、埼玉県、東京都、岐阜県、京都府、岡山県)です。埼玉県は、県内全市町村、京都府は府内26市町村のうち24市町村で助成制度が導入されています。

制度の内容は各自治体によって異なります。当法人のホームページにお問い合わせ一覧を掲載しています。

[http://www.jmdp.or.jp/donation/about/post_202.html]



LIVE FOR LIFE のイベント

急性骨髄性白血病で亡くなった本田美奈子. さん(享年38)の追悼イベント「LIVE FOR LIFE 音楽彩」が、11月3日に日本橋三井ホール(東京都中央区)で行われました。この音楽彩は今年で11年を迎え、本田美奈子. さんが親しかった松本伊代さん、早見優さんをはじめ、13組のアーティストが出演しました。今年には歌手の泉谷しげるさんも出演し、会場を盛り上げました。また、栄広場(愛知県名古屋市)でもイベントが開催されました。



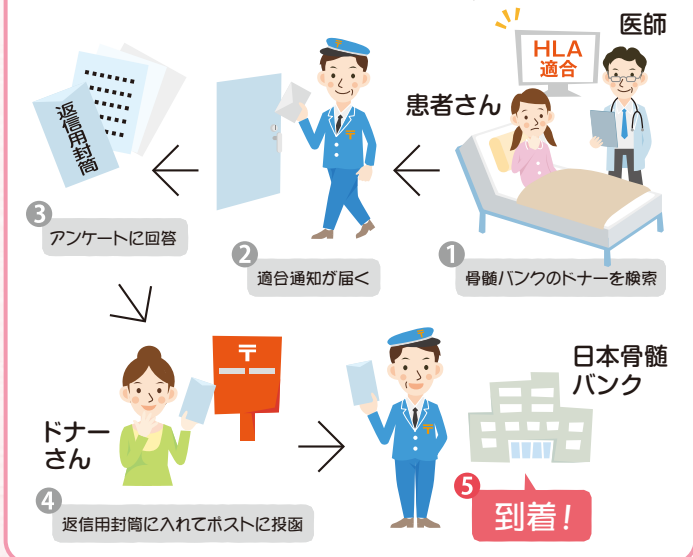
研音グループと俳優・唐沢寿明さんに感謝状

多くの俳優、タレント、歌手が所属する研音グループは2001年から過去10回に渡り「骨髄バンク支援研音チャリティーオークション」を開催し、骨髄バンクを支援しています。日本骨髄バンクでは研音グループとチャリティーオークションの発起人で研音所属の俳優・唐沢寿明さんに感謝状を贈呈しました。

唐沢さんは連続テレビ小説「とと姉ちゃん」や日本テレビ系10月クールドラマ「ラストコップ」の収録で忙しい中、研音グループを代表して「骨髄バンク設立25周年記念全国大会」にビデオメッセージを寄せてくださいました。

適合のお知らせ

日本骨髄バンクに届くまで



患者さんと白血球の型が一致してドナー候補者となりますと、提供意思等を伺う書類(適合通知)が送られます。オレンジ色A4サイズ封筒で、中には提供意思と健康状態等を確認する書類および説明のパンフレットが同封されています。

患者さんが希望する早期に移植を受けられると生存率が高まることから、ドナー候補者の皆さまには、1週間程度で返信いただくようお願いしています。発送から1週間後にはお手元に届いているか確認の手紙を送付し、2週間後には、電話で状況を伺っています。3週間たつてもお返事がない場合はコーディネートを終了させていただくことになります。このように適合通知が届いてはすなわにドナー候補者の方から返信がなく、電話でも連絡がつかない状況が「連絡とれず」での終了です。

適合通知が届いても「連絡とれず」でコーディネートが終了することがあります

適合通知が届いたら...



住所や電話番号の変更、
忘れていませんか？

ドナー登録者の住所不明は約63,000人

現在、ドナー登録者47万人のうち約6万人以上の住所が分からず、連絡がとれません。住所変更の連絡がなく、年1回発送する骨髓バンクニュースが宛先不明で返送されると、やむを得ず住所不明として登録が保留となります。患者さんと適合しても、住所不明の場合はコーディネートが開始できません。転居した場合は必ず下記のいずれかの方法で登録内容の変更手続きをお願いします。

① ウェブサイトで



造血幹細胞移植情報サービス

(骨髓バンク・さい帯血バンクポータルサイト)

<http://www.bmdc.jrc.or.jp/>



QRコードで
今すぐアクセス!

1. トップページ「骨髓ドナー登録者の方へ」から「登録内容変更ページ」を開き、ログイン画面でアクセスコード、生年月日、メールアドレスを入力し「認証」ボタンを押します。
※アクセスコードは、今号(49号)の宛名台紙に印字されています。
アクセスコードがわからない場合は、②または③で手続きできます。
2. 1で入力したメールアドレスに届く専用URLにアクセスし、ワンタイムパスワードと生年月日を入力してログインします。
3. 変更する項目を入力・確認して手続き完了!!
※上記の方法で現在の登録内容も確認できます。

② 電話で

日本赤十字社ブロック血液センターまでお問い合わせください。*電話受付は平日(月~金)の9:00~17:00です。

■北海道ブロック血液センター 011-613-6683 管轄地域…北海道	■近畿ブロック血液センター 072-643-1173 管轄地域…滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
■東北ブロック血液センター 022-354-7083 管轄地域…青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県	■中四国ブロック血液センター 082-241-1614 管轄地域…鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県
■関東甲信越ブロック血液センター 03-5534-7534 管轄地域…茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、新潟県、長野県	■九州ブロック血液センター 0942-31-8974 管轄地域…福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県
■東海北陸ブロック血液センター 0561-85-4298 管轄地域…岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、富山県、石川県、福井県	

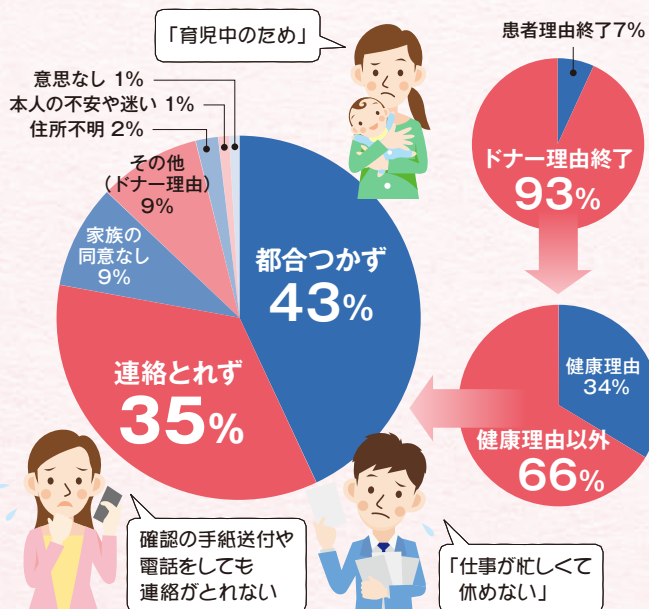
③ 献血ルームで

最寄りの献血ルーム(骨髓登録受付場所)の受付窓口で、登録内容に変更がある旨をお伝えください。その場で用紙にご記入いただけます。後日、お電話で変更内容について確認させていただく場合があります。

※献血ルームの所在地、受付時間等は、上記1のウェブサイトのトップページから「一般の方へ」→「ドナー登録したい」を選び、「登録受付窓口」をご覧ください。

- *登録情報に関しては日本赤十字社にて保管・管理しておりますので、日本骨髓バンクでは登録内容の変更は受付けておりません。
- *ドナー登録の保留や取消しの手続きも上記①~③の方法で可能です。保留とは治療中・海外勤務・出産等の理由でご提供を希望しない場合に、一時的に登録を保留にすることです。

【終了別理由件数】(2015年実績)



提供する時間がなかったり、事情があつて提供できなかったりする場合でも、書類を返送するか電話でお早めにお知らせください。また、何らかの理由で都合がつかない場合は、保留期間を設けることができます。登録内容変更の手続きは、住所変更手続きと同様に造血幹細胞移植情報サービスから可能です。

「連絡とれず」は隠れた住所不明です。結婚、長期出張、単身赴任、転居が多いことなどから実家や留守宅が登録住所になつていて、ドナー候補者が知らない間に終了になるケースが多くあります。いつ適合のお知らせが届いてもいいように、普段から骨髓バンクに登録していることをご家族にお話をいただくことで、早期にお返事をいただくことができ、多くの患者さんの救命へとつながっていきます。

適合通知をお送りしたドナー候補者27867人のうち初期段階で13681人のコーディネートが終了しています(2015年度)。健康理由の終了が34%、健康以外の理由が66%ですが、健康以外の理由のなかで「都合つかず」に次いで2番目に多いのが「連絡とれず」で、1年間で2949人、健康以外の理由の35%にも上ります。

「連絡とれず」は隠れた住所不明

クイズに答えて賞品をGET!

○の中に入る数字を当ててください。



Q. 今年の12月で日本骨髄バンクは「設立●●周年を迎えます」

応募締切

2017年1月9日(祝)

応募方法

【PC・スマートフォン】

<http://www.donorsnet.jp/news49/>にアクセスし、応募フォームに必要事項を記入の上、お申込みください。

【携帯】

present@jmdp.or.jp宛てに件名を「プレゼント応募」として必要事項(①クイズの答え、②郵便番号、③住所、④電話番号、⑤名前、⑥年齢、⑦ご希望の賞、⑧ご意見・ご感想)を明記の上、送信ください。

※当選者の発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。

A賞



※デザインの一部変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

5名様

プロゴルファー
中溝裕子さん画
笑(絵)手紙カレンダー

B賞



3名様

サントリー
伊右衛門280ml
1ケース(24本入り)

※サントリービバレッジサービス(株)は飲料の社会貢献型自動販売機の設置で骨髄バンクへ支援していただいています。

メールアドレスの登録をお願いします

骨髄バンクニュース12月号は、ドナー登録者の住所確認を兼ねて郵送でお届けしています。

当法人は2014年度決算で1億円以上の経常赤字を計上し、現在経費削減に取り組んでいます。そのため、7月号はご希望の方にメールで発行のお知らせをし、12月号はドナー登録者の皆さまに郵送でお届けしています。

骨髄バンクニュース発行のメールによるお知らせを希望する方はアドレスの登録をお願いします。



造血幹細胞移植情報サービスQRコード

ご注意

- ※ログインには、同封のバンクニュース宛名台紙に記載されたアクセスコードが必要です。
- ※メール配信を受け取られた方にも、年1回は郵送でバンクニュースは届きます。
- ※このメールは日本骨髄バンクのメールマガジンとは異なります。

メールアドレスの登録方法

造血幹細胞移植情報サービス
(骨髄バンク・さい帯血バンクポータルサイト)

<http://www.bmdc.jrc.or.jp/>

「ドナー登録者登録内容変更ページ」

「登録内容変更ページ」にログイン後、
「**バンクニュース送付について メールでの配信受け取る**」を選択してください。

(ドナー情報変更ページへ)

募金のお願い

骨髄バンクの運営は、国庫補助金などの公的資金のほか、患者さんの負担金や皆さまからのご寄付によって成り立っています。当法人は公益財団法人ですので、税制上の優遇措置が受けられます。

皆さまの善意をお寄せください

募金フリーダイヤル ☎ 0120-377-465 (平日9:00~17:30)



1. 郵便振替

郵便払込用紙で、最寄りのゆうちょ銀行・郵便局からお振込みをお願いします。手数料は当法人が負担します。



2. 銀行振込

募金フリーダイヤル ☎ までお電話ください。
みずほ銀行間で手数料が無料になる専用振込用紙をお送りします。



3. お電話で募金(クレジットカード)

カードをご用意のうえ、募金フリーダイヤル ☎ までお電話ください。
お名前・ご住所・電話番号・カード番号・カードの有効期限・ご寄付金額をお知らせください。



4. インターネットから募金(クレジットカード、楽天銀行、ポイント募金など)

① インターネットクレジットカード募金

http://www.jmdp.or.jp/help_us/ または

② 楽天銀行(旧イーバンク銀行)

http://www.jmdp.or.jp/help_us/howto/bank.html

24時間入金可能な楽天銀行をご利用いただけます(手数料無料)。なお、事前に口座の開設が必要です。



5. 自動口座引き落としによるご寄付

資料をご送付します。
募金フリーダイヤル ☎ までお電話ください。



骨髄バンク提携クレジットカードのご案内

クレジットカードによるお支払額の一部が骨髄バンクに寄付される骨髄バンクサポーターカード。寄付金なしの一般会員と、毎年3,000円を寄付するサポーター会員、毎年1万円寄付する特別会員があります。骨髄バンクカードには、この3種類のNICOSカードのほか、VISA付きカードがあります。
入会申込書を ☎ 0120-377-465 までご請求ください。

□ 個人寄付者の方へ ※税額控除制度が適用されます。

これまでの「所得控除制度」に加え、税率に関係なく税額から寄付金の一定額を直接控除できる「税額控除制度」が適用されます。寄付者は2つの寄付控除制度のうち、より有利な方法を選択することができるようになります。

① 所得控除を選択する場合(寄付金合計 ※1 - 2000円) × 所得税率 ※2 = 控除額

② 税額控除を選択する場合(寄付金合計 ※1 - 2000円) × 40% = 控除額 ※3

※1 所得額の40%が上限 ※2 課税所得により5%~40% ※3 所得税額の25%が上限